

ノリ情報(6号)

山口県水産研究センター内海研究部

平成17年12月8日

1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は12月4日からの寒波以降から平年を下回り、12月6日には10.8℃と平年より2℃低くなりました。各漁場の水温は12月4日の下関地区12.5～14.5℃、12月6日の宇部地区11.6～12.2℃、12月5日の防府地区16℃となっています。降水量は12月6日に6mmの降雨がありましたが、平年を下回る降水量となっています。

(2) 栄養塩

地区	DIN	PO ₄ -P
下関地区	平均116ガンマ(低85～高147ガンマ) 平年比82%、前年比53%	平均12ガンマ(低9～高15ガンマ) 平年比156%、前年比437%
宇部地区	平均50ガンマ(低18～高158ガンマ) 平年比60%、前年比71%	平均9ガンマ(低7～高11ガンマ) 平年比76%、前年比104%
防府地区	平均61ガンマ(低47～高76ガンマ) 平年比98%、前年比308%	平均13ガンマ(低13～高14ガンマ) 平年比108%、前年比163%

※ DINは防府地区を除き、昨年同時期よりも低下。防府地区は昨年同時期の3倍。
PO₄-Pは各地区とも昨年同時期よりも増加。下関地区は昨年同時期の4倍。

2 養殖状況

王喜地区では1回目の摘採が終了。色調・艶ともに良好な製品が生産されています。山陽小野田地区では引き続きバリカン症による葉体の流失が発生しており、収量が伸び悩んでいます。また栄養塩の低い状態となっており、沖合の一部漁場では色落ち傾向となっています。宇部地区では11月23日から摘採が開始されました。色調・艶の良好な製品が生産されていますが、栄養塩低下により、色調の浅い葉体が沖合漁場を中心に見受けられます。また、沿岸漁場ではバリカン症による葉体流失も発生しています。